

事務事業名	就学前教育検討事業		コード	03-01-01-05
			担当課・係	学校教育課
			担当者	重成育枝
事業実施期間			電話	64-1840
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり		
	小項目(施策)	幼稚園		

事業について	
目的 (何のために)	当市の次世代育成支援対策を円滑に推進するため就学前教育のあり方について検討する。
対象 (誰・何を対象に)	就学前の乳幼児及びその保護者
内容	社会のニーズや時代の変化に対応した就学前教育の在り方を検討

事業の結果			
実施項目	回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
就学前教育検討回数		8回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等
	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担
合計	0	一般財源等	0	合計	2,915	一般財源等	2,915	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.30人	
結果指標名	就学前教育検討回数	
結果指標量	8回	
単位	回	
対前年比	-	
活動にかかるコスト	円	2,915,000円
単位当たりコスト	円	364,375円

事業の成果		
どのような成果を得ようとしているか	社会のニーズや時代の変化に対応した就学前教育の在り方を検討し、幼保連携により一体的な運営や施設整備を行う。	
成果指標名	式又は説明	
	幼保連携について検討している状況であり、式にまとめることはふさわしくない。	
成果指標量	17年度	18年度
対前年比	-	
到達目標値		到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A-E> A 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	当市の次世代育成支援対策を円滑に推進するため就学前教育のあり方に関する検討することは妥当な事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A-E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	他市の状況や幼保の現状を把握して本市の就学前教育の方向性を示すもので、効率性については反映しにくい。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映しやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	本市の課題である幼保連携にむけて、平成18年9月に中間報告・平成19年2月に最終報告を提出した。具体的な内容をつめていく必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 幼保一体施設整備準備部会と共に市内の幼稚園・保育園の運営等の連携について検討している。	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	15	結果指標量

総合評価	当市の次世代育成支援対策を円滑に推進するため就学前教育のあり方について検討することは、備前市の幼保連携施設整備を進めていく上で必要な事業である。	評価区分 <A-E> B
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性		説明 平成19年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	幼保の就学前教育すすめてく上での課題を明確にして実施する。	22年度	幼保連携の施設整備が進んだ時、幼保の連携が充実したもとなる。